

論評

南北当局者会談を歓迎して -より一層積極的な朝鮮半島緊張緩和措置が必要だ

北朝鮮の金正恩委員長が2018年新年初日に平和のための提案を出した。

『北と南は情勢を激化させることをこれ以上してはならず、軍事的緊張を緩和し、平和的環境を用意するために共同で努力し』ようと提案したのだ。このための具体的措置として『冬季オリンピック競技大会に代表団派遣を含んで必要な措置を取る用意があり、このために南北当局が至急に会うこともできる』ということ提案した。

これに対して統一部は、すぐ次の日の2日、高位級南北当局者会談を9日板門店で開催しようと回答した。そして今日午後3時30分から南北間板門店連絡通路が再び開通する予定だ。

労働党は、南北当局間のこのような一連の提案と措置が朝鮮半島の緊張を解消するための重要な試みであるという点で歓迎の意向を明らかにする。

憂慮される点もなくはない。直ちにアメリカは金正恩委員長の誠意に対して懐疑的な反応を現わし、北朝鮮に対して最大限の圧迫を加えるという対北朝鮮政策と韓米共助に変更がないという点を強調した。保守マスコミもまた韓米同盟亀裂、韓米共助の亀裂が憂慮されるというなど都合な見解を隠さずしており、自由韓国党は一層強めて『軽薄な偽装平和攻勢』だと、こき下ろしている。

直ちに議題選定から容易ではないだろう。北がすでに核武力完成を宣言しただけに、非核化を議論議題としようとする南側の試みは初めから難関にぶつかるだろう。

しかし北朝鮮としても平和攻勢を繰り広げるほかはない対内外的環境に置かれているだけに、落ち着いた粘り強い努力が必要な時だ。その先導的措置として、平昌冬季オリンピック期間だけでも軍事訓練を中断しなければならない。通常訓練という行為は、戦争のための偽装行動ではないならば、制裁手段になりえない。平和を語るオリンピック期間に必ずしなければならない急迫性と切迫性もない。そうであるから南北双方が情勢を緊張させることを自制すること、すなわち南側は訓練を中断し、北側は核とミサイルの追加挑発を自制することから緊張緩和措置を始めなければならない。

文在寅政府も過度に右往左往する習性を捨てるべきだ。トランプと金正恩について、この間十分に知ったし、十分に配慮したのだから、体面繕いは十分にしたわけだ。もう合理的な理性が命じるとおりになる時になった。

2018年1月3日(水)

平等生態平和を指向する労働党スポークスマン イ・コンス

論評 南北高位級会談開催を歓迎し、南北関係の画期的改善を期待する

来る9日、南北当局が板門店で高位級会談を開催することで合意した。私たちは南北当局の素早い対応と努力に歓迎の拍手を送り、まもなく開催される南北高位級会談が豊かな結実を結ぶように祈る。さらに平昌冬季オリンピックの成功的開催とともに、これを契機に早い期間内に南北関係が画期的に改善されることを期待する。

去る1日、北は新年辞を通じて、『凍結状態にある南北関係を改善して意味深い今年を民族史に特記する思弁的な年』にしようと述べ、『南と北が過去にしばられずに南北関係を改善し、自主統一の突破口を開くための決定的な対策をたてていくこと』を提案した。あわせて『軍事的緊張状態の緩和および平和的環境づくり、和解と統一を指向する雰囲気づくりと南北交流の幅広い実現』のために努力することを提案した。これに対し韓国政府が直ちに歓迎の立場を発表して南北高位級会談を提案し、北がこれに応じて南北高位級会談が成し遂げた。

今後、南北当局は平昌冬季オリンピックの北側代表団参加を契機にして、可能なすべての対話窓口を復元しなければならない。また、開城工業団地閉鎖など去る9年間保守政権で広がった南と北の葛藤と対決を清算し、南北首脳が合意した6.15共同宣言および10.4宣言を誠実に履行するための共同の努力を傾けなければならないだろう。

今回の南北高位級会談を契機に文在寅政府は南北民間連帯交流の復元および活性化のための惜しみない支援を継続しなければならない。民間次元の連帯交流は経済協力と共に当局間関係をより一層丈夫で豊かにさせる必須の分野だ。当局間交流が政策と制度を通じた平和統一の基盤になるならば、民間連帯交流は70年の分断の歳月を経て民族的同質性を確認し、平和統一の大衆的基盤と世論を作る重要な役割をする。内外的な困難を突き抜けて最初に南北首脳会談を成功させた金大中政府の時、民間連帯交流に対する大幅な支援が成立し、その結果、政府の統一政策に対する肯定的世論が大きく広がった経験を文在寅政府で再び継続しなければならないだろう。

南北労働者3団体は、2015年南北労働者統一サッカー大会を平壤で成功裏に開催して、塞がった南北関係改善の呼び水の役割をした。これを受け継いで南北労働者が合意した労働者統一サッカーソウル大会開催をはじめとする連帯交流事業が速かに進行されるようにしなければならない。私たちは平昌冬季オリンピックの成功的開催と南北関係改善のための多様な努力を傾け、はやい期間内に南北労働者3団体間の出会いを推進してソウル南北労働者統一サッカー大会をはじめとする節度ある大衆事業を準備しようと思う。

民族和解と平和統一の象徴だった開城工業団地閉鎖が示しているように、去る保守政権の9年間に後退してきた南北関係は、朝鮮半島に恒常的な対決状態と戦争危機を作ったし、正常な国の発展を遮った。もう再びこのような悲劇が繰り返されてはいけない。南北の共存・共栄と平和と統一に進まなければならない課題は、選択でなく私たちの民族が成し遂げねばならない時代的課題だ。

もう一度、9日板門店で開催される南北高位級会談が成果的に終わられることを期待して、これを契機に画期的な南北関係改善と実質的な進展が続くことを希望する。

2018年1月5日

6.15 南側委員会労働本部 (全国民主労働組合総連盟、韓国労働組合総連盟)

〈決議文〉

金泉ロウソク集会 500+5 日をむかえて、
新しい覚悟で 2018 年を必ずサードを撤去する年にしよう!

皆さん!

こちらはロッテ ゴルフ場にサードが配備されるという青天の霹靂のような知らせに足袋裸足でサード撤回を叫んだ 14 万金泉市民の自主的意志と怒りが積弊勢力の根元を揺るがしたロウソク集会広場です。こちらはサードが追い立てる核戦争の恐怖と生活・環境被害を事前に防がなければならないという金泉の心の覚醒と行動を滋養分として平和の子供たちが育つ広場です。私たちは先に雨が降ろうと雪が降ろうと変わりなしに、人が認めてくれなくとも 500 日を超えて黙々とロウソクを灯してきた金泉市民に愛と尊敬の気持ちを込めて熱い連帯と感謝の挨拶を差し上げます。

皆さん!

2017 年昨年、韓米当局は偽りと不法、警察暴力でサードを搬入しました。しかし私たちは一つに団結して素裸の身でサードと米軍、燃料、工事装備を防いで立ち上がりました。そしてこの戦いが決して簡単に終わらないことを韓米当局に明確に刻印させました。今、当初計画のとおり工事を進行できないのも私たちの闘争の結果です。サードは私たちには使い道がなく、米日軍事同盟と私たちを一つにまとめて北・中・ロと対抗させようとするアメリカの罠だという事実を闘争で証明しました。サードが昨今の戦争危機と核対決の主な要因だという嚴重な事実を知らせました。

皆さん!

新年はじめに南北対話が始まるという嬉しい便りが飛んできました。韓米の軍事訓練延期に呼応する北朝鮮の措置がより増せば、サード撤去、平和情勢づくりに有利な状況が繰り広げられることもあるという期待感を持たせます。しかしアメリカのトランプ政権は、打ち込まれたサードを手綱として韓米日同盟構築をより一層促すことで、文在寅政府も今年末に予定された環境影響評価が終わればサード工事と作戦運用を許容することは明らかです。サードが完全に根をおろすことも、反対に引っこ抜かれて出ていくこともありうる状況が展開しています。

しかし皆さん!

サード撤回か、そうでないかの分岐点で、明らかなことはただ私たちの団結した闘争によってのみサード撤回の道を開くことができるという点です。もうサードは終わったことではないか?という人々がいます。サード撤去は非現実的な主張ではないのか?という声も聞こえます。長い間の闘争に疲れて縮こまったりもします。しかし皆さん頑張りましょう。2018 年をサードを撤去させる年にするという覚悟で再び靴ひもを結びなおしましょう。

皆さん!

サードは戦争危機と核対決を呼び起こして主権・平和・安保を根本的に脅かすので、ただ1ミリも譲歩できません。サード撤回闘争は、自主と生命権を守る偉大な闘争です。朝鮮半島と北東アジア、さらには世界平和のための偉大な闘争です。サードは清算しなければならぬ外交安保の積弊1号対象なので留保できません。積弊を清算して正義をたてるための歴史的な闘争です。ロウソク集会の力で政権を取り替えた私たちではありませんか!大変であればあるほど互いに信じ合い、抱き合って新しい力を得て勝利に向かって進みましょう。

皆さん!

ソソン里のジンバッキョとノゴクのパルギジェでの守り人活動はサード撤去闘争の基本前線です。すべての工事車両と燃料、米軍の出入りは必ず防ぐようにしましょう。金泉ロウソク集会とソソン里集会、汎国民平和の行動はサード撤去闘争の動力を拡大する土台です。サード撤去世論拡散のために戦争危機と核対決を解消する平和情勢づくりのために闘争しましょう。さらに多く集まりましょう。さらに愉快地に、さらに楽しく、さらに元気に、さらに強固でしつこく闘争しましょう。

円仏教、星州と金泉住民皆さん!そして全国各地から来られた平和守り人の皆さん!サード撤去闘争は強大国が私たちの手綱を握ることを防ぎ、平和を実現するための闘争なので必ず勝利します!自主と平和を愛する国内外の進歩的な勢力の支持と声援の下に進行されているので敗北できません!何よりも住民たちが先に立って勝利に向かって進むことができます!このすべての力を一ヶ所に集めて2018年に必ずサードを撤去し、平和を成し遂げる転機を作りましょう!

2018年1月7日